

戸 田 市 教 育 委 員 会 会 議 録			
招 集 期 日	平 成 3 0 年 9 月 2 7 日 ( 木 )		
場 所	戸 田 市 役 所 教 育 委 員 室		
開 会	9 月 2 7 日 午 前 9 時 3 0 分		
閉 会	9 月 2 7 日 午 前 1 1 時 0 5 分		
教 育 長	戸ヶ崎 勤		
教 育 長 ・ 委 員  出 席 状 況	戸ヶ崎 勤	出 席	
	仙 波 憲 一	出 席	
	吉 田 辰 行	出 席	
	鈴 木 晃	出 席	
	土 肥 美 奈 子	出 席	
説 明 員	鈴木教育部長、熊谷次長、清水次長兼教育政策室長、		
	栗津副参事兼教育総務課長、武藤学務課長、		
	教育政策室川和田担当課長、小須田学校給食課長、福田生涯学習課長		
書 記	教育総務課総務担当 山本副主幹、片桐主任		
傍 聴 人	1 人		

## 会議の経過及び結果

教育長

「けさの秋」という季語があります。もう夏のものとは思われない気配に、ふと気づく朝のことを言います。例年ならお盆過ぎでしょうが今年は遅く、それは昨日だったようです。身を潜めていた秋が急に姿を見せたような空気になりました。二つの季節の変わり目、とくに夏から秋へ移り変わるころを「ゆきあい」と言います。なかでも夏の雲と秋の雲とが一緒に広がる晩夏の空は「ゆきあいの空」というきれいな名前で呼ばれます。

昼間は日差しの強さが残っていても、夕べのあかね雲は夏場の色とは違います。記録づくしの猛暑は去りましたが、今年は、夏ばてが尾を引く「秋ばて」にも要注意だそうです。冷たい物を引き受けた胃腸は弱っています。

春夏秋冬いずれが好きかはそれぞれですが、古来、秋はずいぶん好まれてきました。源氏物語によく登場する上位300語をみると、夏と冬は入らず、秋は春よりずっと多いのだそうです。そういえば万葉集も、一番多く詠まれている花は草冠に秋と書く萩だと聞きます。秋の野辺に咲く花は思いのほか多く、女郎花にせよ、葛や竜胆にせよ、総じて地味ですが、園芸種とは違う素朴な姿が詩心を誘ってやまないように思います。

もう一つ秋と言えば、食欲、スポーツ、芸術、読書の秋、と何をするにもよい季節です。最近では極端に視力が低下したこともあり、数行読むとすぐに睡魔に襲われてしまいます。「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」という諺のとおり、読書は人の成長にかけがえのない財産となります。

日本で一番売れている国語辞典で、「新解さん」の愛称で親しまれ個性的な記述で知られる「新明解国語辞典」によると、「読書」とは、「人生観を確固不動のものとするため時間の束縛を受けることなく本を読むこと。寝転がって漫画本を見たり電車の中で週刊誌を読んだりすることは含まれない。」とあります。これだけは譲れない、という読書人の迫力が行間からひしひしと伝わってきます。

昨日が彼岸明けでした。彼岸を過ぎれば夜長になって、「もののあはれ」

	<p>の季節への移ろいにより人の心も秋気に染まると言います。暑くも、寒くもない。気温だけでなく、春のような慌ただしさや、期待と落胆の山谷も少なく、私見ですが、胸中の寒暖計が最も安定する季節です。千金の一日一日を大切に送りたいものです。</p> <p>「今夜新たに読む本は未知の世界の旅ぞかし」 与謝野晶子</p>
教育長	<p>ただ今から、平成30年第10回戸田市教育委員会定例会を開会いたします。初めに、前回の会議録の承認ですが、事前に会議録の内容を見ていただいておりますので、御異議がないようでしたら承認ということでよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>了承</p>
教育長	<p>それでは、会議録に御署名をお願いします。</p>
各委員	<p>署名</p>
教育長	<p>次に、秘密会となる案件につきましてお諮りいたします。「報告事項⑥平成30年度第1回戸田市海外留学奨学生について」は、個人情報となりますので、秘密会で行うこととしてよろしいかお諮りいたします。</p>
各委員	<p>異議なし</p>
教育長	<p>それでは「報告事項⑥」は、秘密会とすることに決定いたしました。</p>
教育長	<p>はじめに、「教育委員提案について」御報告いたします。以前の教育委員会にて委員より御質問のあった件について報告がございます。</p> <p>① 「教室を科学する」について（鈴木委員）</p> <p>② 図書館本館の休館に伴う臨時自習室の実施状況について（鈴木委員）</p> <p>それでは鈴木委員から御提案のありました「教育委員提案① 「教室を科学する」について」を事務局より説明願います。</p>
事務局	<p>①「教室を科学する」について報告します。</p> <p>教室での教師の指導についての自己評価や他者評価は、これまで経験知</p>

	<p>や暗黙知によって行われてきました。しかし、今後はエビデンスを明らかにし、可視化することで教師の指導改善に役立てるために「教室を科学する」ことを検討しています。優れた指導、いわゆる教師の「匠の技」を明らかにすることで、多くの先生方に広げていけると考えています。そして、ゆくゆくは学校の業務改善や子供たちの生活習慣も科学していきたいと考えています。</p> <p>資料記載のプロジェクトは、現段階では青写真ではありますが、企業や大学等との連携を模索しながら、既に様々なことを企画して動き始めております。本市のコンセプトを明らかにし、様々な産官学民へアウトリーチしていきます。ただ、本市がやりたいことへの技術が追いついていない状況でもあります。</p> <p>具体的な例を御説明します。まず、1のリアルタイムでの活用について、冷却ジェルシートのようなものを子供たちのおでこに貼り、脳波を測って集中力をリアルタイムで把握できるようにするものです。</p> <p>2の日々の授業改善への活用について、脳波やサーモグラフィを用いて教師が行った授業のどこで集中したか等を分析することで、教師の課題提示や発問について客観視できるようにするものです。</p> <p>3の優れた指導法の分析について、生体反応データと学力調査のデータの相関関係を分析し、どのような指導が効果的か明らかにするものです。</p> <p>4はその他として、睡眠の質と集中力との関係を分析し、お昼寝タイムを設ける必要があるかどうかなど、睡眠指導に活かすものです。</p> <p>今後、技術の進歩をにらみながら進めていきたいと考えております。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>何か御質問等がありましたら伺います。</p>
<p>委 員</p>	<p>昨年度、ハイラブル社の卵形のマイクで授業中、誰がいつ、何をどのように話したかを測定する授業がありましたが、これが「教室を科学する」ことなのでしょうか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>そのとおりです。音環境分析システムを活用した学び合いの分析について</p>

	<p>では、すでに研究を進めております。</p>
委 員	<p>3の優れた指導法の分析に大変期待しています。今後、AIが個別指導してくれるようなすごい時代になっていくのではないのでしょうか。</p>
事 務 局	<p>これまでは、クラス全体に対しひとつの指導しかできませんでしたが、今後は個に応じた指導ができるようになるかと考えています。</p>
教 育 長	<p>既に最先端の知見を集めて動き始めています。教室を科学することは、EdTechのひとつです。私の造語で、データサイエンスに基づくものをSoft EdTech、最新のテクノロジーを使うものをHard EdTechと呼んでいます。両者が融合し、これが進んでいけば日本の教育の最先端になりうるのではないかと考えています。</p> <p>昔は匠の技を見て盗む余裕やストーブ談義などで学べる機会がありました。しかし、今の学校現場ではそのような時間のゆとりはありません。しかし、このようなことをしっかりやらないと、その悪影響を受けるのは子供たちです。若い教師に力をつけるために、教室を科学することは必要不可欠だと考えています。簡単に成果が出るとは考えていませんが、果敢に挑戦していきます。</p>
委 員	<p>新しい試みで大変素晴らしいと思いますし、大いに期待しています。</p> <p>ただし、得られたデータをどのように分析・使用していくかも同時に考えていかなければならないと思います。また、この試みについて、教師や保護者に理解してもらわなければ成功しないと思います。</p>
教 育 長	<p>仰るとおりだと思っています。私はウェアラブル端末と睡眠アプリを使って、睡眠の深さや質をチェックしていますが、睡眠が浅いという課題がわかっても、ではどうしたらよいか、その改善策がわからないでいます。これと同じではいけないので、得られたデータの扱いや活用方法についても考えていきます。</p>
事 務 局	<p>倫理的な問題や個人情報の問題など、可視化されることの難しさがあると考えています。</p>

委員	それらの問題には慎重に対応しつつ、利活用できる仕組みづくりをぜひお願いします。
委員	保護者としては、子供を、機械を通して見られてしまうのではないかと危惧するのではないのでしょうか。丁寧に説明し、保護者の理解を得る必要があると思います。
教育長	新しいことを始めるときの重要なステップとして考えていきます。
事務局	あくまでも一面的な部分の測定に過ぎず、ひとつの見方だけで総合的に判断されるものではないと、保護者や児童生徒の理解を得る必要があると考えています。
教育長	それでは他に御質問等がないようですので、続きまして、鈴木委員から御提案のありました「教育委員提案② 図書館本館の休館に伴う臨時自習室の実施状況について」事務局より説明願います。
事務局	<p>②図書館本館の休館に伴う臨時自習室の実施状況について報告します。</p> <p>図書館本館は大規模な設備改修工事を実施するため、2018年7月1日から2020年3月31日まで休館いたします。しかし、本館の自習席については、市内中学校の試験日直前の土曜日・日曜日・祝日、またそれ以外でも日曜日・祝日を中心に利用者が多い状況であることなどを勘案し、休館期間中、自習席の代替措置として市内公共施設に臨時自習室を開設いたします。</p> <p>既に開設済みの施設は、新曽福祉センター（新曽公民館）と西部福祉センター（美笹公民館）です。</p> <p>まず、新曽福祉センター（新曽公民館）については、日曜日・祝日の午前9時～午後6時まで、2階の第1会議室（定員16名）及び第2会議室（定員8名）を臨時自習室として開放しています。</p> <p>次に、西部福祉センター（美笹公民館）については、休室日を除く毎日、午前9時～午後6時まで、2階の準備室（定員16名）を臨時自習室とし</p>

	<p>て開放しています。</p> <p>資料3ページ及び4ページは、7月1日開設以降の臨時自習室の利用実績です。この実績は定点調査で得られた人数です。</p> <p>今後の予定として、10月13日（土）から2020年3月29日（日）まで、芦原小学校内にある生涯学習施設の集会室で中学生のみを対象とした自習室を開設する予定です。今年度は、資料2ページ記載の日程とし、午前9時～午後6時まで市内在住又は在学の中学生を対象に開設いたします。来年度の開設日は別途検討する予定です。</p>
教 育 長	何か御質問等がありましたら伺います。
委 員	改修工事開始前の図書館本館の自習席の利用率はどのくらいでしたか。
事 務 局	土日や試験前は利用者が殺到しておりました。
委 員	事前に予測していたより利用者が少ないと思われませんが、一般利用者はどうですか。
事 務 局	これまでの利用率を鑑み、最大限用意したところです。高校生や社会人の利用も多いです。
委 員	芦原小の生涯学習施設の臨時自習室は工事期間中だけの開設ですか。
事 務 局	生涯学習施設は日々の稼働率が高いため、工事期間中のみの開設とさせていただきます。
教 育 長	<p>それでは他に御質問等がないようですので、続きまして、「報告事項」について申し上げます。本日は「その他」を含めまして5件の報告がございます。</p> <p>① 平成30年第3回戸田市議会定例会（9月）教育関連一般質問及び常任委員会について</p> <p>② 中学校学校選択制における通学区域外受入予定定員数について</p> <p>③ 平成30年度戸田市教育委員会等研究委嘱校の研究発表会について</p>

	<p>④ 「授業がわかる調査」調査結果の概要について</p> <p>⑤ 子育て講演会の開催について</p> <p>⑥ 平成30年度第1回戸田市海外留学奨学生について【秘密会】</p> <p>⑦ その他</p> <p>秘密会となる報告事項⑥を除き、詳細につきまして、各所属長より報告いたします。なお、御質問につきましては、すべての報告が終了したのちに伺います。</p>
事務局	<p>①平成30年第3回戸田市議会定例会（9月）教育関連一般質問及び常任委員会について報告します。</p> <p>今回は7名の議員から教育委員会に一般質問が出されました。その内容と答弁概要につきましては、資料の1ページから8ページに掲載しております。時間の都合上、概要についてのみ報告いたします。</p> <p>資料1ページを御覧ください。佐藤議員からは、化学物質と化学物質過敏症について、学校の現状と対応について質問が出されました。</p> <p>次に、金野議員からは熱中症対策について、主に熱中症の現状と対策、小中学校体育館へのエアコン設置、水筒の持ち込み期間、運動会等の児童生徒席へのテント設置について質問が出されました。</p> <p>次に3ページ中段を御覧ください。むとう議員からは、LGBTQ等、性的少数者の方たちへの学校現場における取組について質問が出されました。</p> <p>次に4ページを御覧ください。竹内議員からは、交通安全対策について、通学路の安全対策についての進捗管理と関係部署間との連携について質問が出されました。</p> <p>次に4ページ下段、馬場議員からは、戸田市の部活動方針と今後の部活動の方向性について質問が出されました。</p> <p>次に6ページを御覧ください。土屋議員からは、戸田市の奨学金制度の</p>



	<p>見直しについて質問が出されました。</p> <p>最後に7ページ下段を御覧ください。矢澤議員からは、図書館の大規模改修工事による休館と現状、今後の図書館の運営について質問が出されました。</p> <p>続きまして、9月議会において、文教・建設常任委員会が付託を受けた案件のうち、平成29年度戸田市一般会計歳入歳出決算認定に当たっての審査経過及び結果について報告します。</p> <p>教育委員会実施事業のうち、学校専任のスクールカウンセラーや学校経営アドバイザー導入の効果についての質疑があり、効果について答弁いたしました。また、英語検定費用助成事業開始から2年が経ち、課題等について質疑がありました。</p> <p>また、戸田東小学校・中学校の建て替えは、公共施設健全度調査をみても建て替えの見通しは10年以内となっており、拙速な建て替えは必要ないとの反対討論がありました。これに対し、戸田東小学校は平成30年度から教室不足が生じており、戸田東小学校の児童が戸田東中学校の空き教室を利用し、安全に学ぶためには改築工事が必要であったため、本件に賛成するとの討論がありました。採決の結果、賛成多数により、文教・建設常任委員会においても、本会議においても平成29年度戸田市一般会計歳入歳出決算については認定されました。</p>
<p>事務局</p>	<p>②中学校学校選択制における通学区域外受入予定定員数について報告します。資料9ページを御覧ください。</p> <p>戸田市では、平成17年度入学の1年生より中学校学校選択制を導入し、現在に至っております。現在、戸田市立中学校では生徒数が増加傾向にあり、各中学校の施設の状況を踏まえ、通学区域外の受け入れ定員数を定めて実施しております。</p> <p>今年度の各中学校の受け入れ予定定員数（上限35人）は資料のとおりです。受け入れ定員数が35人より少ない学校は、戸田中学校と新曽中学</p>

	<p>校の2校です。</p> <p>今後、各中学校への希望状況や、私立中学校入学予定者数、10月1日現在の平成31年度児童生徒見込数調査等をもとに、各中学校長と協議し、正式な受入定員数を決め、11月5日に周知いたします。正式な定員数を決める際には、可能な限り抽選を回避できるよう配慮してまいりたいと考えております。</p> <p>定員を超えた場合は、抽選となります。抽選は11月17日（土）に行います。その後、補欠者繰り上げ期間を設け、2月20日（水）が最終決定となります。</p> <p>なお、正式な定員数の周知が11月5日であることから、教育委員会への報告は11月の定例教育委員会での事後報告となりますことをご許してください。</p>
<p>事務局</p>	<p>③平成30年度戸田市教育委員会等研究委嘱校の研究発表会について報告します。</p> <p>資料6ページ記載の6校が今年度、研究委嘱発表会を実施します。</p> <p>No.1～4の学校については、市教育委員会の委嘱発表です。</p> <p>No.1の戸田東中の道徳を中心とした研究については、ポプラ社と連携し、ポプラ社が発行している「答えのない道徳の問題 どう解く？」の教材を活用した授業などを行います。既にこの教材を活用した授業を7月に戸田第一小で行ったのですが、新聞・WEBなどで紹介され話題になっています。教材の具体例ですが、「食べていい動物と食べちゃいけない動物の違いってなんだろう？」、「ついていい嘘とついていけない嘘ってどう違うんだろう？」などのテーマがあります。これらの教材を活用した授業があります。</p> <p>No.2の新曽中については、ICTを取り入れた授業の研究を行っています。当日は、指導者として放送大学の中川一史教授に御指導いただきます。中川教授は、ICT教育やプログラミング教育の第一人者で、昨年度</p>

	<p>から市内の様々な学校で御指導いただいております、2月のセンター研究発表会では御講演いただきました。中川教授には、No. 4の戸田東小の研究にも御指導いただいております。戸田東小の研究には、マイクロソフトの有識者の方にも御指導いただいております。</p> <p>No. 3の喜沢小については、これまで文部科学省の安部恭子調査官に特別活動の御指導いただいております、当日も御講演いただく予定です。</p> <p>No. 5の戸田第一小については、埼玉県教育委員会のプログラミング教育推進事業の委嘱発表となります。インテルやベネッセなど、多くの企業の皆様から御指導いただいております。</p> <p>No. 6の戸田第二小につきましては、研究2年目ではありますが、発表を行い、広く意見を伺いたいという申し出があり、発表校となりました。</p> <p>すべての発表校で産官学民の有識者の方々に御指導いただき、研究を推進しておりますので、その研究成果について発表がされるものと期待しております。</p> <p>どの発表も午後からの開催となります。改めて御案内いたしますので、可能な限り御参観いただければ幸いです。</p>
事務局	<p>④「授業がわかる調査」調査結果の概要について報告します。</p> <p>本調査につきましては、10年以上続く調査です。まずは調査内容について説明します。資料13ページ及び14ページを御覧ください。</p> <p>小・中学校別の調査集計結果です。小学校4年生から中学校3年生の全児童生徒を対象に、教科に関し、3つの項目「①授業の内容がわかるか②楽しいか③進んで取り組んでいるか」についての5件法のアンケートを行いました。</p> <p>例えば、表の見方として、小学校の一番上の4年生国語を御覧いただくと、「よくわかる48%」「だいたいわかる40%」「どちらともいえない8%」「少しわからない4%」「ほとんどわからない1%」ということになります。</p>

	<p>小中学校の各教科に対し、学年ごとの結果が出ておりますが、「よくわかる」「だいたいわかる」を合計すると80%、90%を超えるものが多くあります。</p> <p>14ページの中学校の結果では、「授業が楽しい」に関する項目については、昨年度と比較して50%台の教科が減少しましたが、まだ50%台があったり、60%台で留まっていたりするものもありますので、状況をしっかりと確認してまいります。</p> <p>16ページは、10年間の経年変化です。小学校は比較的高い位置で推移していますが、中学校は10年間で大きく伸びています。学習指導、生徒指導による成果であると捉えております。</p> <p>全体的な状況については、今年度は3つの項目ともに1～2ポイント減少しておりますが、今年度も目標値まで少し届かない状況です。</p> <p>17ページ及び18ページは、学年ごとの教科別の推移のグラフです。学年が上がるにつれて減少傾向となっておりますが、逆に伸びている教科もありますので、その要因について今後確認していきたいと考えています。</p> <p>全体的に高止まり傾向が見られますので、現在加速化している新しい学びの取組や教科横断型の取組など進めていきたいと考えております。</p>
事務局	<p>⑤子育て講演会の開催について報告します。</p> <p>生涯学習課では、主に小中学生の保護者への家庭教育の支援を図るため、今年度も市民大学認定講座として、子育て講演会を開催いたします。</p> <p>今年度の子育て講演会は、10月12日（金）の午前10時30分から正午まで、市役所5階の大会議室で開催いたします。</p> <p>「じょうぶな子どもをつくる基本食」と題し、ベストセラーとなった『粗食のすすめ』の著者であるフーズ&amp;ヘルス研究所代表の幕内秀夫氏を講師にお招きし開催いたします。</p> <p>講演では、飽食の現代社会の中で、何を食べれば健康に良いのか、何を</p>

	<p>食べさせれば子どもの成長に良いのか疑問を解決し、気持ちが楽になる話を進めながら、毎日の食生活を見直していき、食による健康づくりを考えていきます。</p> <p>なお、受講対象者は市内小・中学校PTAの皆さんと、9月1日号の広報等で市民の方にも参加を呼びかけているところです。現時点で300人を超えるお申し込みをいただいております。</p>
教育長	次に⑦その他ですが、事務局より何かありますか。
事務局	特になし
教育長	以上で、「報告事項」が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。
委員	報告事項①の一般質問で出された水筒の持ち込みについて、学校ごとに対応が違うようですがなぜですか。
事務局	本市の小・中学校には冷水器が設置されていることに加え、水筒持ち込みによる衛生面等のリスクやトラブルもあり、校長が各学校の管理運営事項として総合的に判断することとなっています。
委員	子供読書手帳とはどのようなものですか。
事務局	小学生対象で、図書館で借りた本以外にも読んだ本について自分で記載する手帳です。あとで実物をお配りします。
委員	報告事項④の授業が分かる調査について、中学生の技術家庭だけ楽しい割合が他の授業より低いようです。技術家庭は日常生活のスキルを学ぶ授業で楽しいものだと思うのですが、そうではないのでしょうか。
教育長	昔と違い、男女の共通履修が影響しているかもしれません。しかし、技術家庭は、課題解決的な学習ができる最先端の教科であるとも言えると思います。
委員	学年ごとの推移グラフで、中学校の学年が上がるにつれ授業が楽しくなくなり、授業がわからなくなる傾向があります。これを右肩下がりではな

	く、できるだけ平行線にさせていただきたいと思います。
教 育 長	努力いたします。
委 員	授業がわかることと授業が楽しいことは関連しているのでしょうか。授業がわかれば楽しいはずですが。しかし、授業が楽しければわかるようになるのでしょうか。教室を科学する際、この部分についても分析をお願いします。
教 育 長	「わかる」の段階に「see」「understand」「appreciate」があります。これらの違いも、教室を科学することで見えてくるかもしれません。
教 育 長	それでは他に御質問等がないようですので、続きまして、「議案第20号平成31年度当初教職員人事異動の方針について（案）」を事務局より説明願います。
事 務 局	<p>平成31年度当初戸田市立小中学校教職員人事異動の方針につきましては、資料2ページの1のとおり、埼玉県教育委員会の「平成31年度当初教職員人事異動の方針」及び「平成31年度当初市町村立小・中学校等教職員人事異動方針細部事項」に基づいて作成いたしました。県の人事異動方針や細部事項について、昨年度との変更点はありません。</p> <p>戸田市の人事異動方針について概要を説明いたします。資料2ページを御覧ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 県の方針と細部事項に基づき、円滑、適正な人事異動を行い、本市学校教育の充実と進展を図る。</li> <li>2 教育の機会均等を図るため、各学校の教職員組織の充実と均衡化に努める。</li> <li>3 配当定員に対して過員を生ずる場合は、調整のため異動を優先する。</li> <li>4 教職員は同一校在職10年以内に異動を行う。特に7年以上の者は積極的に異動を行う。</li> </ol>

	<p>5 新規採用教職員については、多様な経験を積ませ、資質の向上を図るため、採用後5年以内に市町村間の異動を行う。</p> <p>6 同一校在職3年未満の者、産休・育休等を取得中及び休職中の教職員については原則として異動の対象としない。</p> <p>7 管理職候補者名簿登載者は、職務経験を豊かにするため積極的に異動を行う。</p> <p>8 再任用者の適切な配置に努める。</p> <p>9 女性教職員の積極的な登用に努める。</p> <p>以上の9項目について方針（案）を定めました。今後、この方針に基づいて、平成31年度当初教職員人事異動に関する事務を進めていく所存です。</p>
教育長	以上で説明が終わりました。何か御質問等がありましたら伺います。
教育長	教職員の人事異動で課題になっていることはありますか。
事務局	特にありません。本市は女性校長の割合も約30%で、南部管内の約18%、県全体の約14%を大幅に上回っており、県内トップクラスです。
委員	この方針の対象は誰ですか。
教育長	全教職員です。校長が教員に説明し、人事ヒアリングを行います。
委員	昨年度の方針は守られましたか。
事務局	概ね本方針に基づいて人事異動を行っておりますが、5の経験人事について産休・育休等で実施できない場合があります。
教育長	それでは、他に質問等がないようですので、打ち切ります。議案第20号は、提案内容のとおり議決することに御異議ございませんか。
委員	異議なし
教育長	異議なしと認め、議案第20号は提案内容のとおり議決いたします。

教 育 長	次に、次第の6その他の「次回の教育委員会の日程（案）」について、事務局より説明願います。
事 務 局	次回、教育委員会定例会の日程ですが10月25日（木）午前9時30分からの開催について、お伺いいたします。
教 育 長	それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおりでよろしいでしょうか。
各 委 員	了承
教 育 長	それでは、次回の教育委員会定例会の日程は、事務局（案）のとおり決定いたします。次に、その他ですが、事務局から何かございますか。
事 務 局	特になし
教 育 長	その他に委員から教育委員提案のテーマについて何かございますか。
委 員	学校訪問でタブレットを活用した授業が行われているのを拝見しています。各学校のタブレットPCの配置台数やどのようなデジタル教材を使用しているか、活用状況など、ICT環境の整備について報告してください。
事 務 局	承知いたしました。
教 育 長	それでは、「報告事項⑥」を議題といたします。秘密会とすることに決定しておりますので、説明員で議案に係る職員以外は退席願います。
	<b>【報告事項⑥を報告後、閉会】</b>